

# iP-40S / 40B 操作パネルの説明

## iP-40S / 40B 使用上のご注意

投影の際は、必ずレンズキャップを外して下さい。

ダイレクトパワーオフ機能( 1)使用時は、必ず電源ボタンを2度押し、ランプが消えてから電源コードを抜いて下さい。付属のUSBケーブル(iP-40Sのみに付属)を取り外す際は、必ずPC及びプロジェクタ本体の電源OFF後、またはPCで「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってから取り外して下さい。

ランプ交換の際はスタンバイ状態( 2)にて、ランプ使用時間のリセット操作を必ず行って下さい。

また、エアフィルタは定期的に清掃・交換して下さい。

( 1)ダイレクトパワーオフ機能:電源オフ後、すぐにコンセントを抜ける機能。

( 2)スタンバイ状態:コンセントを入れ、「オンスタンバイ」LEDが赤点灯(ランプ非点灯)の状態。



名称	説明
オン/スタンバイ	スタンバイ時は赤点灯、投影中は緑点灯します。取説25ページ
ランプ/カバー	投影中は緑点灯、ランプカバーが外れていると赤点灯します。 ・ランプ時間が1900時間を超えると赤点滅、2000時間を超えると赤点灯します。1900時間を超えたら、ランプ交換(型番:PLK-G1)して下さい。取説50~52ページ
温度	内部温度が上がりがすぎた時、10秒間の赤点滅後、赤点灯します。取説48ページ
電源	本機の電源を入/切します。取説25ページ
入力切替	1回押すごとに入力モード(OHP、PC、ビデオ)を切り替えます。取説27ページ
回転/データ転送	(回転) 投影画面の向きを右に90°ずつ回転します。(OHPモード時のみ有効) (データ転送) OHPモード時はPCモードにしてから、PCモード時は一度押しと、本体内蔵メモリ資料をPCに転送します。 ( ) Pビューアー起動時のみ有効です( P-40Sのみ)。 ( ) SDカード装着時( P-40Sのみ)はPCに転送できません。取説28、31、36ページ
解除	静止画の状態を解除します。本体に載せた原稿を、ほぼリアルタイムで確認できます。取説30ページ
静止画/取込	投影画面が静止画となります。OHPモード時は、履歴画像として 内部メモリに保存されます。SDカード( P-40Sのみ)挿入時はSDカードに保存されます。取説30ページ

## 【 P-40SのSDカードスロットについて】

SDカードは標準添付です。必ず弊社純正のものをお使い下さい。

オプション(型番:AV-SDSDC1GB)のSDカードを使用すると、

- 1、iP-40S本体に載せた資料等を保存したり
- 2、デジカメ写真やパワーポイント資料等を保存( )してPCレスプレゼンが可能です。

( ) 専用ツール(iP Viewer tool)での変換が必要。

専用ツールは、弊社HPよりダウンロードできます。

取説14、30ページ参照

【iP-40S端子部】



SDカードスロット

## 【SDカードへの保存方法】

本体ガラス面に保存したい資料を載せる

「静止画/取込」を押す

SDカード挿入時:資料がSDカードに保存されます

SDカード非挿入時:資料が本体内蔵メモリに保存されます

## 【SDカード内資料の読み出し方】

リモコンの「履歴」を押す

SDカード挿入時:SDカードに保存された資料がサムネイル表示

SDカード非挿入時:本体内蔵メモリ資料がサムネイル表示

## SDカードご使用上の注意 (iP-40S)

本機でフォーマットしてからお使い下さい。

抜き差しはOHPモードで行って下さい。

SDカードアクセスLED点灯中は、決してカードの抜き差しを行わないで下さい。

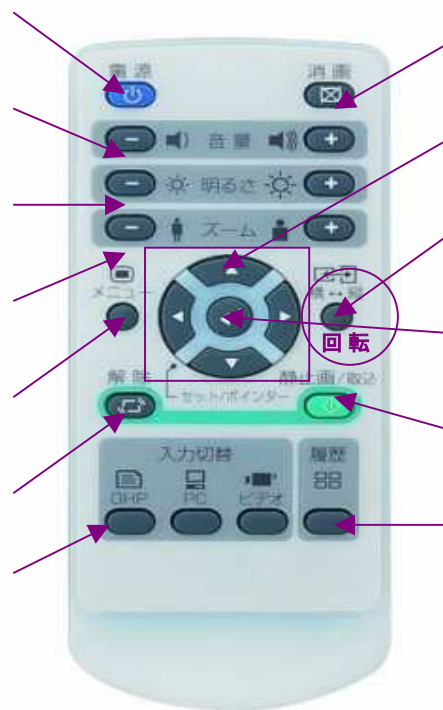
# iP-40S / 40Bリモコンの説明

## リモコンの操作について

取説 16～17ページ参照

リモコンは、本体のリモコン受光部(前後にあります)から約7M、左10°/右10°の範囲内でご使用下さい。  
ただし、電池の消耗により距離は短くなります。  
受光部が汚れていたり、リモコンと受光部との間に障害物があるとリモコンは動作しません。

名称	説明
電源	本機の電源を入/切(スタンバイ状態)します。 取説25ページ
音量	PCモード、ビデオモードで音量調整を行います。 取説35ページ
明るさ	投映画面の明るさ調整を行います。 取説29ページ
ズーム	投映画面の倍率調整を行います。 取説28ページ
メニュー	メニュー画面の表示/非表示を行います。 取説39ページ
解除	原稿台上載せた原稿を、ほぼリアルタイムで投映したい時に使用します。取説30ページ
入力切替 (OHP、PC、ビデオ)	各モード(OHP、PC、ビデオ)に切り替えます。 取説27ページ
消画	ランプを消灯せずに、表示画面を一時的に消します。 もう一度押すと、すぐに映像が復帰します。32ページ参照
スクロール	メニュー画面で、項目選択や調整値の設定をします。 ズーム時は、ズーム位置を移動します。 ポインタ表示中は、ポインタを移動します。 取説28～29、31、36ページ
回転	OHPモード時のみ有効 投映画面の向きを右に90°ごとに切り替えます(最大360°)。 取説27ページ
ポインター/セット	(セット)メニュー画面で、項目決定を行います。 取説36、39ページ (ポインター)メニュー非表示時、ポインターを表示します。 1回押すごとに、表示/非表示を切り替えます。
静止画/取込	投映画面が静止画となります。OHPモード時は、 履歴画像として内部メモリに保存されます。 SDカード(P-40Sのみ)挿入時はSDカードに保存されます。 取説30ページ
履歴	「静止画/取込」ボタンで本体内部メモリまたは、 SDカードに取り込んだ資料をサムネイル表示します。 取説31ページ



## 【台形補正(キーストンの仕方)】

取説40～41ページ

台形補正は、リモコンでのみ設定可能です。

<メニュー画面> リモコンの「メニュー」を押す

<キーストン調整画面>

「マニュアル」or「自動調整」選択



設置設定  
タブを選択。

キーストン  
を選択。



<マニュアル調整>

スクロール(左右)ボタンで調整。

<自動調整>

「ON」選択で垂直±15°の範囲  
で自動調整します。

「メニュー」を押してセット完了。

パソコンの映像が

投映されない時は、

PCを再起動するか、PC側で映像出力設定

を行って下さい。詳細は、お使いのPCの  
取説をご覧ください。取説22ページ

故障かな、と思ったら、  
(取説54ページ)



お問い合わせは

日本アビオニクス㈱ 営業本部

プロジェクタ営業部

TEL 03-5436-0622

FAX 03-5436-0629

〒141-0031

東京都品川区西五反田8-1-5 五反田光和ビル

または

カスタマーサポートセンター

0120-175-411 (フリーダイヤル)

(月～金)9時～12時/13時～17時 まで。